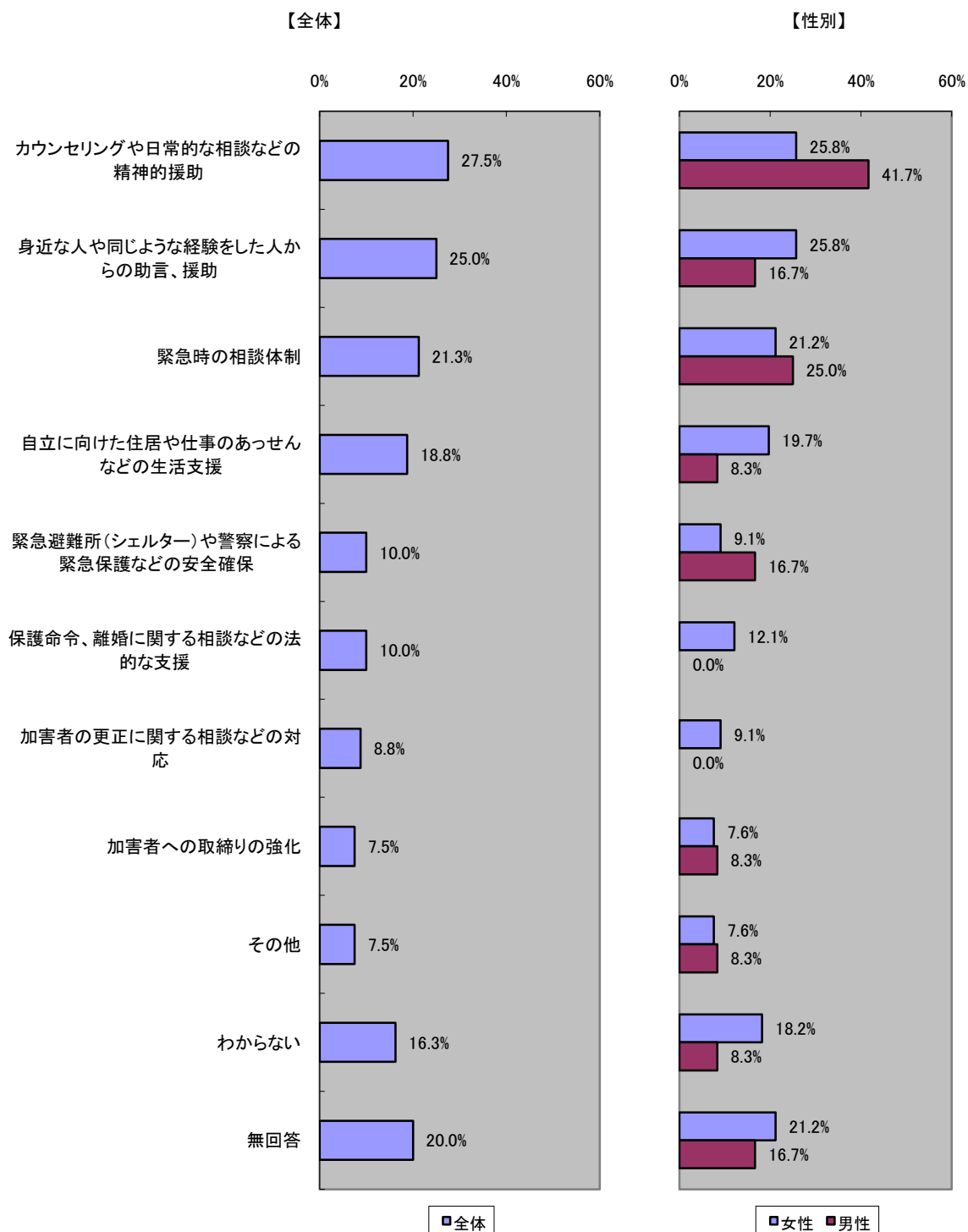


問24 (問22、問23に回答したすべての方におたずねします。)

あなたは、そのときどのような助けがあればよいと思われましたか。(あてはまるものすべて)

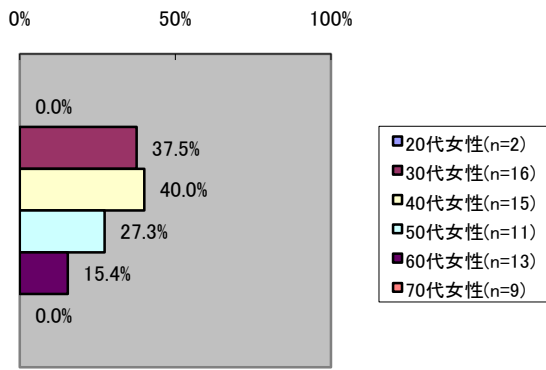


「カウンセリングや日常的な相談などの精神的援助」が最多の27.5%となっており、次いで「身近な人や同じような経験をした人からの助言、援助」の25.0%、以下「緊急時の相談体制」21.3%、「自立に向けた住居や仕事のあっせんなどの生活支援」18.8%と続いている。

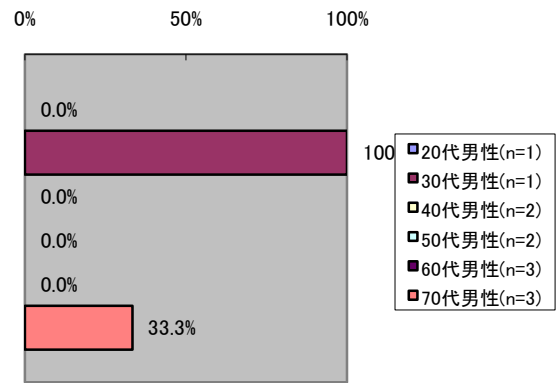
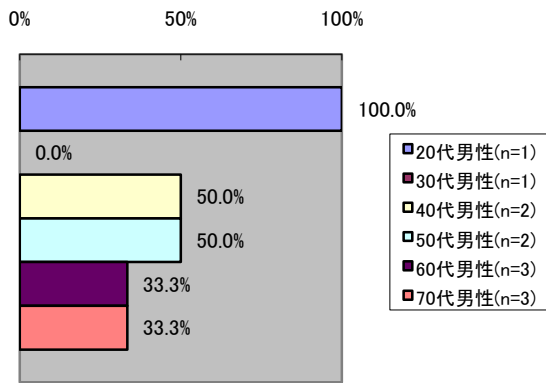
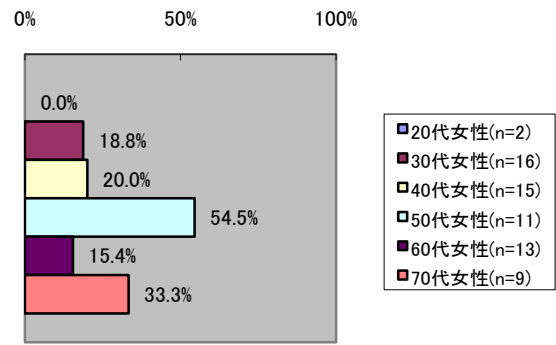
最も多かった「カウンセリングや日常的な相談などの精神的援助」は男性で41.7%となっているが、女性は25.8%であり、男女間に差がみられる。また、「自立に向けた住居や仕事のあっせんなどの生活支援」も男性は19.7%であるが、女性は8.3%にとどまっている。

<性・年代別> (上位4項目)

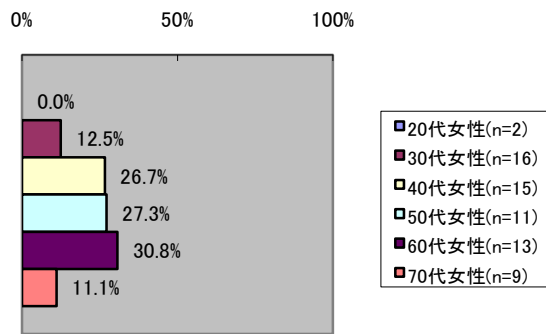
1 カウンセリングや日常的な相談などの精神的援助



2 身近な人や同じような経験をした人からの助言、援助



3 緊急時の相談体制



4 自立に向けた住居や仕事のあっせんなどの生活支援

